

学生支援緊急給付金の申請に係る確認書

(日本大学様式)

学部	学科	学年	学生番号	氏名

申請にあたり、要件①、②、③、⑥を確認するため回答します。(太枠部分を記入してください)

要件チェック項目	確認事項				
①家庭からの多額の仕送りがないこと ※仕送り額の内訳を記載してください ※合計額が誓約書の金額と同額となります	仕送り額の内訳 <table> <tr> <th>授業料</th><th>生活費</th></tr> <tr> <td>万円</td><td>万円</td></tr> </table>	授業料	生活費	万円	万円
授業料	生活費				
万円	万円				
②原則として自宅外で生活していること ※自宅生で家族から学費等の援助を受けていない場合は、記載してください	(家族から学費等の援助を受けずに、どのようにして学費・生活費を工面しているか記載)				
③生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い	(アルバイト収入のおよそ何パーセントを学費・生活費に充てていますか) およそ %				
⑥既存制度について以下のいずれかを満たす ※該当するものいずれかに☑をつけてください					
1) 国の修学支援新制度の第Ⅰ区分の受給者 ※非課税証明書を提出した者を含む	☐ 新制度Ⅰ区分の対象者である				
2) 国の修学支援新制度の第Ⅱ区分又は第Ⅲ区分で第一種奨学金を限度額まで利用又は利用予定	(新制度Ⅱ区分又は3区分で) ☐ 第一種奨学金を限度額まで利用している ☐ 第一種奨学金を限度額まで利用する予定				
3) 国の修学支援新制度の申込みをしている又は今後利用する者で第一種奨学金を限度額まで利用又は利用予定	(新制度に) ☐ 申込みをしている ☐ 今後利用する (第一種奨学金を) ☐ 限度額まで利用している ☐ 利用予定する予定				
4) 国の修学支援新制度対象外で、第一種奨学金を限度額まで利用又は利用予定	(新制度対象外で) ☐ 第一種奨学金を限度額まで利用している ☐ 第一種奨学金を限度額まで利用する予定				
5) 要件を満たさないため、国の修学支援新制度又は第一種奨学金を利用できないが、民間等の支援制度を利用又は利用予定	☐ 可能な奨学金の利用を予定している				

<留学生は裏面に続く>

【 基準⑦の確認事項 <留学生は必須> 】

1 前年度の成績評価係数は、2.30以上ですか

はい

いいえ

※ 以下の算出方法で、成績評価係数を算出し、回答を選択してください。

[成績評価係数の算出方法]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

総登録単位数

	成績表に基づく学内成績評価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
評価ポイント①	3	3	2	1	0
修得単位数②					
評価ポイント③（①×②）					
評価ポイント合計④（③の合計）					
総登録単位数⑤					
成績評価係数（④÷⑤） （小数点第3位を四捨五入）					

2 一か月の出席率が8割以上ですか

はい

いいえ

3 仕送りの平均月額はいくらですか

月額

円

4 在日している扶養者の年収が500万円未満ですか

はい

いいえ